



下里中だより

令和 6年 4月10日
東久留米市立下里中学校

教育目標 ・知性を高めよう ・心身を鍛えよう ・広く思いやろう

新しい年度の始まり

校長 藤井 和重

4月9日の入学式では、1年生97名を迎え、令和6年度がスタートしました。小学校を卒業したばかりで、緊張した面持ちの1年生でしたが、これからの3年間では、下里中で多くのことを学びます。

「中学校へ入学したら!」「中学生になったら!」…と、それぞれ希望をもっていることと思います。ぜひ、その夢を一つずつ叶えていきましょう。皆さんの夢が叶えられるように、先生たちは一生懸命お手伝いと応援をします。その夢の実現に向かって一日一日を大切に過ごしていきましょう。

さて、ここまでのお話の中に中学校生活のポイントとなる言葉が含まれていましたが、すぐに分かったでしょうか?「お手伝いと応援をします。」この部分にとっても重要な意味が込められています。

2年生・3年生となった上級生の皆さんは、これまでの学校生活の中で、たくさんの人たちが様々な活躍の場で、大いにリーダーシップを発揮してくれました。中学校は自分や仲間と考えて判断し、行動する場面が多く出会います。主役は、皆さん一人一人です。皆さんを囲む私たち大人は、「コーチ」や「アドバイザー」のように、「こうやったらうまくいくよ。」「こうしたら、できるようになるよ!」と、アドバイスをたくさんしますが、最後に実行するのは皆さんで一人一人です。

上級生は下級生の模範となり、下級生は上級生を見習いながら、一人一人が言葉と行動に責任をもって行動する下中生として、クラスや部活動、さらには地域での行事などでの活躍を期待しています。

さて、この学校だよりをお読みの保護者・地域の皆さまには、いつも本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度の下里中は、例年より多くの教職員が異動となり、裏面に記載の新たな教職員とともに今年度の学校運営を進めて参ります。

下里中の教職員は、常に「卒業後の生活」を生徒に意識させ、3年間で社会人として活躍できる基礎を身に付けさせたいと考えています。そのためには保護者・地域の方々にご協力をお願いすることも多いかと思いますが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



目指す学校像

※学校経営計画からの一部抜粋です

『伸び伸び さわやか 下里中』を目指し、下記に具体的な学校像を示す。

- (1)生徒一人一人を大切にし、良さを伸ばし、生き生きと活動できる学校
- (2)生徒と生徒、生徒と教職員が相互に信頼する温かい学校
- (3)保護者や地域から信頼され、安心して生徒を任せられる学校

そのためには、生徒を第一に考え、以下の3点を進めていく。

- ア すべての生徒に教育愛をもって生徒理解に努め、指導に当たる。
- イ 保護者・地域との協力・連携を深め、丁寧に対応していく。
- ウ 指導力の一層の向上を図るため、研修に努める。